

学校教育目標	「自主・自律」 ・確かな学力と学ぶ意欲をもって、主体的に考える子どもを育てます。 (知) ・自他をみとめ、思いやりと規範意識をもって行動をする子どもを育てます。 (徳) ・健やかな体を育み、安心・安全を尊重する子どもを育てます。 (体) ・地域の中で自分を活かし、社会貢献できる子どもを育てます。 (公・開)			
	学校概要 創立 41 周年 児童生徒数: 589 人	学校長 我妻 智之 主な関係校: あざみ野第一小学校、あざみ野第二小学校、黒須田小学校、荻子田小学校	副校長 山田 美穂子	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 2

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	あざみ野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
課題発見・解決能力 言語活動・コミュニケーション能力 自分づくりに関する能力	あざみ野中学校 あざみ野第一小 あざみ野第二小 黒須田小 (すすき野中・すすき野小・嶮山小・荻子田小)	自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子 ----- 小中学校間で学習指導や生徒指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育て、「9年間で育てる子ども像」の具現化を目指す。具体的には小中授業研究会、小学生の中学校授業参観・部活動見学・生徒会オリエンテーション等を行う。

中期取組目標	○「チームあざみ野」として全職員で「共有」「共感」「協働」を合言葉に 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。 ・生徒を理解し、認め、励まし、一人ひとりを伸ばす教育を行います。 ・主体的・対話的で深い学びに通じる指導を充実するとともに、「分かる授業」「魅力ある授業」を実践します。 ・自己肯定感を高め、お互いに認め合う人間関係、思いやりのある心を育てます。 ・地域とのコミュニケーションを通して、信頼関係を深めていきます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①指導主事を招請して指導と評価の一体化育成を目指した研修を行ったり、育成を目指す資質・能力を明確にした校内授業研を実施したりし、子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。 ②年2回、生徒による授業評価を実施し、集計結果を基にしながら授業改善を行う。
徳	道徳・人権教育	①人権意識の醸成を目指し、教職員研修や講演会を実施し「誰もが、安心して、豊かに生活できる学校」を目指す。 ②学校教育全体で道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。
体	健康・安全教育	①誰もが楽しみながら運動に参加できるよう保健体育科の授業改善を図るとともに、体育的行事や集会を生徒が主体になって運営できるようにする。 ②主体的に健康で安全な生活を実践することができるよう、健康・安全についての理解を深めるとともに、計画的に健康・安全教育を実施する。
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①キャリア教育、平和学習を軸とし、探求的な学習を実施する。 ②横浜の時間の中で、教科横断的な総合的な学習を実施する。
	いじめへの対応	①年2回いじめ防止研修を行い、全職員へのいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。 ②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。また生徒の心情に寄り添って、積極的にいじめを認知する。
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンターチームを組織し、メンティーを中心としながら月1回程度の自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ②外部指導者を積極的に活用し、研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上を目指す。 ③働き方改革の視点から、持続可能な部活動について全職員での検討会を行い、生徒の適切な活動時間や職員の働き方について考える。
	特別支援教育	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を要する生徒に対する理解を深める。 ②ユニバーサルデザインに関する研修を行い、職員での理解を深める。
	生徒指導	①長期休業明けに教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、Y-Pアセスメントを活用して支援検討会を行い、組織的な対応を行う。
	担当	
	担当	